

ASAHIPEN

ベンゾピレン等

発ガン性物質を含まない安全タイプ

木材防虫防腐ソート

防虫

防腐

防カビ

●浸透性に優れ長期間木材を保護

●安全な薬剤配合 ●クレオソートに比べ臭いが少ない

用途

クイ・板塀・溝板・土台・根太・根太受・床束・大引など屋外や床下の未塗装木部



注意書きをよく読んでから使用して下さい。



この色見本は、実際に塗った色及びツヤとは多少異なります。



商品名 木材防虫防腐ソート

品名 木材用防腐処理剤

成分 油脂、有機溶剤、顔料(クリヤを除く)、防腐剤、防虫剤、防カビ剤

特長

- 日光や雨に強い屋外木部専用処理剤
- 浸透性に優れ長期間木材を保護
- 安全性の高い薬剤を使用
- クレオソート油に比べ安全・低臭

用途

- クイ、板塀、溝板等の屋外未塗装木部の防腐・防虫
- 土台、根太、根太受、床束、大引等の床下未塗装木部の防腐・防虫(旧塗膜が残っている場合には、塗膜を取り除く必要があります)

塗装方法

- すでにある古い塗膜は、皮スキ・サンドペーパーなどを使用して充分に取り除きます。
 - 塗る面のゴミ・カビ・汚れを取り、ワックスや油分はペイントうすめ液でよく拭き取り、充分に乾かします。
 - ヤニの多い箇所はあらかじめラッカーうすめ液で充分にヤニを拭き取っておきます。
- 本品がついては困るところは、あらかじめマスキングテープ等でおおいます。
- フタに手をそえて、フタと容器の間にマイナストライバーを差し込んで開け、棒などで中身を底から充分にかき混ぜて均一にします。使用中もときどきかき混ぜます。
攪拌が不十分な状態で塗装すると、本来の防虫・防腐・防カビ効果が得られず、場合によってはカビが生えやすくなることがあります。
- ニス用ハケを用いて木目に沿ってたっぷりと吸い込ませるように塗ります。広い平面の場合はコテバケを使用すると早くきれいに塗ることができます。
 - 夏期3時間以上、冬期6時間以上乾燥させてから、さらに塗り重ねます。
 - マスキングテープは、本品が手につかなくなったらはがします。

用具の手入れ方法 ペイントうすめ液か、ハケ洗い液で洗います。

保管上の注意

- 幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食・いたずらをしないように注意して下さい。
- 直射日光や火気のある場所、自動車内などの高温になるところ、容器がさびやすいところには置かないで下さい。
- 残った塗料はしっかりとフタをしめて保管し、できるだけ早く使い切って下さい。

●この容器は大きめにつくってあります。中身は正確な量目入っています。

株式会社 アサヒペン 大阪市鶴見区鶴見4-1-12
http://www.asahipen.jp

お客様相談室
☎06-6934-0300

火気厳禁
第2石油類／危険等級Ⅲ
木材用防腐処理剤(S-034)

取扱い上の注意 ①本品は他の塗料がすでに塗装されている面には適しません。充分に塗膜を取り除いてから塗装して下さい。(ただし、本品の塗りかえの場合は重ね塗りできます)②表示の用途以外には使用しないで下さい。③屋外のテーブルや椅子など皮膚が直接接するような木部や犬小屋、鳥かごその他ベットなどがなめたり、かじったりするような木部には使用しないで下さい。④食品や食器が置かれるところには使用しないで下さい。⑤プリント合板・化粧合板などには適しません。⑥火気のあるところでは塗らないで下さい。⑦天気の良い日に風通しをよくして塗って下さい。⑧有機溶剤が含まれており、長時間そのにおいをかぐと、頭痛・めまい・吐き気などをおこすことがありますので、塗装中及び乾燥後もにおいがなくなるまで換気をよくして下さい。⑨溶剤蒸気を吸入しないよう、目に入らぬよう、また誤飲しないように保護メガネ、保護マスクを着用して下さい。⑩皮膚につくとかぶれることがあり、また衣服につくときれいに洗い落とすことができず、取扱い時には必ず保護手袋、作業着を着用し、皮膚に触れないようにして下さい。⑪病人・妊婦・乳幼児・薬剤や有機溶剤によってアレルギー症状やかぶれ等をおこしやすい方、特異体質の方のいる場所では取扱わないで下さい。⑫吹き付け塗装は絶対にしないで下さい。⑬本品が草木などの植物にかららないよう、また、金魚や鯉などの魚類がいる池に入らないように注意して下さい。⑭本品が木材以外にかかった場合は中性洗剤で洗った後、充分に水洗いして下さい。⑮マスキングテープの端から本品がにじむことがあります。⑯下地の色や吸い込みの度合によって仕上りの状態や色、乾燥性が大きく左右されますので、あらかじめ目立たない部分で試し塗りをして、色・浸透性・下地への影響などを確かめてから塗装して下さい。⑰クリヤの塗料は白濁していますが、乾燥後はクリヤになります。⑱クリヤは屋外の直射日光が当たる面では、有色品に比べて色あせしやすい傾向があり、未塗装部分と同様に素地が(灰色などに)変色します。⑲ヤニのある箇所は乾燥がかなり遅くなった場合によっては乾かないことがあります。⑳塗り面積・乾燥時間は、色・素材・塗り方・気象条件により多少異なります。㉑乾燥後も衣服や洗濯物がすれたりすると汚れることがありますので、乾いた布でよく拭いてから使用して下さい。㉒床下に使用した場合、乾燥後もしばらくの間、油脂のにおいが残りますので換気をよくして下さい。㉓塗料を上塗りする場合は、夏期1日以上冬期は2日以上経ってから用途に適した油性塗料を上塗りして下さい。㉔取扱い後は必ず手洗い、うがいを充分に行ってください。㉕本品が付着した作業着はそのましまわす、洗濯してからしまってください。㉖塗料を拭き取った布をまるめたまま放置すると自然発火のおそれがありますので、捨てるまでは水につけておき、そのまま廃棄して下さい。㉗容器は中身を使い切ってから捨てて下さい。㉘やむを得ず中身を捨てるときは、火気のない屋外で、新聞紙などに塗り広げ、完全に乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。㉙塗料を移し替える場合は金属等の溶けない容器をご使用下さい。㉚容器を落ささず中身が漏れることがありますので、取扱いに注意して下さい。

危険



●引火性あり ●皮膚刺激 ●アレルギー性皮膚反応のおそれ ●遺伝性疾患のおそれ
●臓器の障害 ●呼吸器への刺激のおそれ ●眼炎やめまいのおそれ
●水生生物に非常に強い毒性

救急処置

- 目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは、医師の診察を受けて下さい。